

CASBEE[®]-建築(新築) | 評価結果 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	鳥取城北中学校	階数	地上4F
建設地	鳥取県鳥取市西品治848	構造	木造一部鉄骨造*
用途地域	近隣商業地域、第1種住居地域	平均居住人員	400 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,500 時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年1月 予定	評価の実施日	2026年2月18日
敷地面積	23,890 m ²	作成者	株式会社大建設計
建築面積	735 m ²	確認日	2026年2月19日
延床面積	2,294 m ²	確認者	橋 孝司



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 3.0 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★ C: ★</p>	<p>☆☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 3.7

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
<p>Q1のスコア = 3.7</p>	<p>Q2のスコア = 3.9</p>	<p>Q3のスコア = 3.6</p>

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 4.0

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
<p>LR1のスコア = 4.3</p>	<p>LR2のスコア = 4.1</p>	<p>LR3のスコア = 3.7</p>

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
<p>躯体に鳥取県産材を使用した耐火木造軸組み4階建の中学校である。1階床以下はRC、上部躯体はエレベーターや階段を除き木造とし、躯体の大部分を県産材による木造としている。高断熱による高い外皮性能により一次消費エネルギーを抑制している。</p>		
<p>Q1 室内環境</p> <p>普通教室は両面大開口にて昼光率を高め、庇+カーテンで昼光制御。建物全体として外壁・屋根の熱貫流率を高め、開口部を制限して外皮性能を高めた。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>木材を使用して心理性に配慮、快適性を確保している。維持管理・耐久性に配慮している。平面計画や各種材料の選定においても維持管理に配慮した計画とした。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>景観計画区域の規定に則った計画としており、地域性のある材料の使用や建物セットバックを行い、まちなみに配慮している。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>建物外皮の熱負荷抑制の結果、BPI_m: 0.62、設備システムの高効率化によりBEI_m: 0.54を達成。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>躯体材料及び躯体以外において集成材・製材(リサイクル材)を積極的に使用した。集成材・製材は大部分を鳥取県産材とした。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>ライフサイクルCO₂排出量を参照値に対し77%に削減(標準計算)。</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される